

## 感染症の症状と出席停止・出欠席について

高南幼稚園

	疾患名	潜伏期間	感染可能期間	主要症状	出席停止・欠席期間の基準	登園届(保護者記入)	治癒証明書
第1種	エボラ出血熱、クリミアコンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(SARSコロナウイルスによるものに限る)、鳥インフルエンザ(H5N1に限る)				感染源となりうる間は原則入院。治癒するまでは出席停止		○
第2種	新型コロナウイルス感染症	2~10日	発症後5~10日	発熱、咽頭痛、咳、鼻水、頭痛、関節痛、嘔吐、下痢など多彩	発熱後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで	○ (療養報告書)	
	インフルエンザ	1~2日	発症後約3日は感染力が強い	発熱、全身倦怠、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、咳、鼻汁	発症した日から1週間(例:月曜日に発症した場合、翌月曜日まで欠席)、かつ解熱した後3日を経過するまで ※高南幼稚園独自のルール	○ (療養報告書)	
	百日咳	6~15日	発症後約3週間(治療で短縮)	最初風邪のような咳、その後発作性の咳込みを反復	特有の咳が消失するまで、または5日間の抗菌剤による治療終了まで		○
	麻疹(はしか)	10~12日	症状(発熱、咳)が出現する1日前から発疹出現後4~5日	最初2,3日風邪症状、発熱。その後さらに高熱、発疹が広がる	解熱後3日を経過するまで		○
	流行性耳下腺炎(おたふく)	2~3週間	発症数日前~後5~7日	耳下腺、顎下腺、舌下腺腫脹、発熱	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が出て5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで		○
	風疹(三日はしか)	2~3週間	水疱出現数日前~後5~7日	発熱と同時に発疹、リンパ節腫脹	発疹が消失するまで		○
	水痘(水ぼうそう)	11~20日 (多くは14~16日)	水疱出現前1日~後6日	腹部、背中から全身に広がる丘疹が水疱、瘡皮へと変化する	すべての発疹が痂皮化するまで		○
	咽頭結膜熱(プール熱) (アデノウイルス感染症)	5~7日	発症数日前~後約5日	発熱、咽頭痛、眼球充血、眼脂	主要症状が消退した後2日を経過するまで		○
	結核	1か月~数年		咳、発熱、全身倦怠	感染のおそれなくなるまで		○
	髄膜炎菌性髄膜炎	2~4日		高熱、吐き気、項部硬直(首が硬い)、精神症状	感染の恐れなくなるまで		○
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、バラチフス				医師が感染のおそれがないと認めるまで		○
	腸管出血性大腸菌感染症	2~14日	多くは数日内	水様性下痢、血便、腹痛、発熱	主な症状が消失し医師が登園可能と認めるまで		○
	流行性角結膜炎	1~2週間	発症後約2週間	眼球充血、眼瞼腫脹、眼脂	医師が感染のおそれがないと認めるまで		○
	急性出血性結膜炎	1~2日	発症後約1週間	流涙、眼球充血、眼瞼腫脹	医師が感染のおそれがないと認めるまで		○
第3種 その他感染症	溶連菌感染症	2~4日	適切な抗菌剤治療を開始する前と開始後1日	発熱、咽頭痛、莓舌、全身の発疹	抗菌薬内服後24~48時間が経過していること	○	
	ウイルス性肝炎(A,B,C型)	A型(2~6週) BC型(1~6か月)	A型発症後1~2か月 型不定(キャリア化あり)	BC	発熱、全身倦怠感、悪心、嘔吐、肋部痛、黄疸	A型肝炎は肝機能が正常化すれば登園可能。B,C型肝炎の無症状病原体保有者(キャリア)は登園可能	○
	感染性胃腸炎(流行性嘔吐下痢症、ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	1~数日	原因ウイルス、細菌による(ノロウイルス、ロタウイルス、感染を含む)		嘔吐、下痢、腹痛、発熱	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること	○
	ヘルパンギーナ	2~4日	発症前日~数日が感染力が強い ルス排泄は2~4週間)	(ウイ)	発熱、咽頭痛、咽頭の水疱	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、 治癒期は全身状態(食事が摂れるなど)が改善すれば登園可能	○
	マイコプラズマ感染症	2~3週間	適切な抗菌剤治療を開始する前と開始後数日間		頑固で長期にわたる咳、発熱	発熱や激しい咳が治まっていること	○
	伝染性紅斑(りんご病)	10~20日	発疹出現前の1週間~10日		かぜ症状の約1週間後、頬の紅斑。 四肢、体幹にも広がることあり	紅斑出現時は元気が良ければ登園可能	○
	手足口病	3~5日	急性期(ウイルス排泄は2~4週間)		手足口に丘疹、水疱、口内疹、口内痛	発熱や喉頭・口腔の水疱・潰瘍を伴う急性期は出席停止、 治癒期は全身状態(食事が摂れるなど)改善すれば登園可能	○
	頭シラミ		成虫がいる時		頭髪に虫卵が付着、頭の痒み	駆除に努めながら登園可能	○
	伝染性膿痂疹(とびひ)	2~10日	水疱、びらん面がある間		皮膚に水疱ができ、破れてびらん面をつくる	患部が乾燥しているか、浸出液が少なくなり患部をガーゼで覆い、 浸出液がガーゼにもれないこと(プール・入浴は避ける)	○
	突発性発疹症	9~10日			発熱が2~4日続き、解熱後に発疹	解熱後元気であれば登園可能	○
	RSウイルス感染症	4~6日	呼吸器症状のある間		発熱、咳、鼻水、喘鳴	呼吸症状が消失し、全身状態がよければ登園可能	○
水いぼ(伝染性軟属腫)	2週間~6か月			粟粒大から小豆大の小さいいぼ	合併症がなければ登園可能		

### 【出席のめやす】

第一種感染症・・・完全に治癒するまで

第二種感染症・・・症状により伝染の恐れがないと認めた場合はこの限りではない(医師の判断)

第三種感染症・・・症状により医師において伝染の恐れがないと認めるまで

その他感染症・・・出席停止にはならないが、医師の判断を受け伝染の恐れがないと認めるまで(ただし園内・地域等の状況によって園長や医師の判断により出席停止になる場合がある)

2025年度版